

「ピラミーデ（ピラミッド・メソッド）認定園研修会」

奈良市にある私立新大宮駅前みどりの園保育園

2014年4月30日

昨年開園の新大宮駅前みどりの園保育園 第1回目の研修会でした。



新大宮の園長先生は、過去数年にわたりピラミーデ（旧名ピラミッド・メソッド）の勉強をしてこられました。それ故に、新設園といっても保育環境は十分に整っています。



二階の踊り場の空間も上手に利用しておられます。

ピラミーデの基本理念の一つは、子どもが安心して遊びと学びの時間を持つことです。



保育室の入口で、子どもたちが出席ノートにシールを貼ります。

分かりやすく2歳児から自分でシールを貼っています。

点呼の時間が無くなり、保育と遊びの時間が増えます。

子どもが自主的に動き判断するための保育方法です。

このような保育園がずいぶんと増えてきました。



既にピラミーデの根本的な教育法を学ばれた園長先生が、積極的にプロジェクトを実施しておられます。玄関先に、今月のプロジェクトテーマが展示されています。子どもを保育活動に引き入れるための上手な展示です。

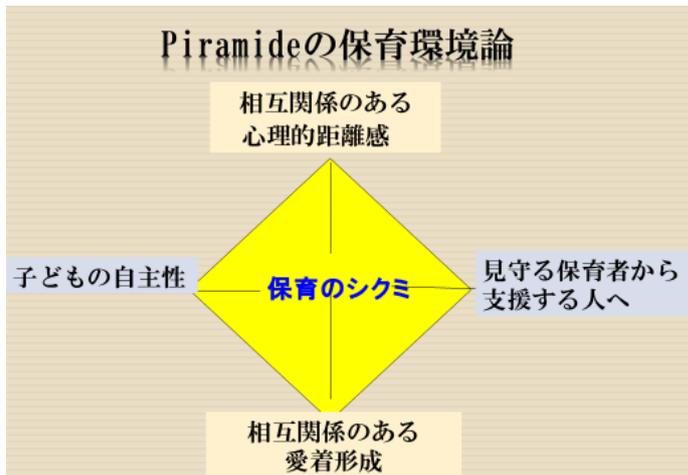
このプロジェクトという保育方法に、ますます関心が高まって来ました。



各部屋に今月の共通テーマが展示され、年齢によって工夫されています。



新設園だけに、先生方も新採用が多いのですが、それだけにピラミエデの勉強会は熱心です。勉強会はピラミエデの四つの基礎石理論から始めました。先生方は私の共著「0歳からの教育」を読んでおられ理解も早いです。



ワークショップとなると先生方の目が輝きます。互いのグループが競い合うかのように、細かいデザインにこだわって、あっという間の3時間でした。

